

令和元年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会（第1回）【概要】

日時：令和元年7月5日（金）午前10時から正午まで

場所：千葉県教育会館6階 会議室604

1 出席委員（敬称略・名簿順）

佐藤 智司、廣澤 正晃、藤田 和弘、佐藤 幸、松村 智明、市東 努、安江 博昭、中澤 泰藏、佐久間 勝彦、五十嵐 正憲（委員長）、小熊 隆（副委員長）、磯野 和美、岡部 成行

2 次第

（1）開会のことば

（2）県教育委員会あいさつ

（3）委員紹介

（4）委員長、副委員長選出

（5）報告

①平成31年度千葉県公立高等学校入学者選抜の結果について

②平成31年度千葉県公立高等学校入学者選抜における学習成績分布表等の公表について

③平成30年度千葉県公立高等学校入学者選抜における選抜・評価方法の公表について

④平成30年度千葉県公立高等学校入学者選抜における中学校及び高等学校からの意見について

⑤令和2年度千葉県公立高等学校第1学年入学者選抜要項について

⑥令和3年度県立高等学校入学者選抜以降の選抜方法等について

⑦その他

（6）協議

①令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）について

②令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜以降の選抜方法等の在り方について

③令和元年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会専門部会の設置について

④その他

（7）閉会のことば

3 協議内容

（1）令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）について

→・令和3年度入学者選抜の日程について、案Aと案Bの二案を提示した。

・案A、案Bともに、出願の受付から志望希望変更に至るまでの間が非常にタイトな日程になっていると見てとれる。中学校側から考えると、出願し、報道発表されてから生徒たちと協議に当たるのだが、この日程では時間的に厳しい。できれば、もう少し生徒たちを指導する時間が確保された日程にしていたら、大変ありがたい。

・検査日を2月下旬と言っているわけだから、案Aの2月18日、19日は下旬には入らないと思う。現行の前期選抜の場合も2月15日頃という形でスタートしたのだが、毎年、祝日とか土日を避ける形で日程が変わっていた。今回も2月下旬としているのだから、2月20日以降ということ踏まえることが当然である。祝日や土日と言って、毎年動かし、2月15日位まで上がる可能性が無いとは言えないだろう。私立高校の入試については公立高校の本検査を踏まえて、現行よりは遅くしようと思っている。他県はわからないが、その年の土日で動くのではなく、土日に検査日になった場合は、振替休日を作ればよい。私立高校の入試はそうやっている。2月下旬としている以上、B案しかないと思う。

・私立高校の日程等も検討に入っているということで、公立も含めて入試が改善されるということになると思う。学校の特色、それから中学生が頑張った部分を評価するという理念は変わらないということなので、折角一本になったのだから、もう少し丁寧な評価のできる、選抜をしたらどうか。今までは入試が2回だったので、日程がとてもタイトであった。中学校側もすぐに願書を出さなければならない日程であったと

思う。中学校側から、志願変更の日程を考えてほしいという意見や休み明けの検査はやめてほしいと意見があった。また、今後も第2日の検査についても得点化するということであるから、もう少しきちんといろいろな検査を丁寧に見ることができるようになりたい。学力検査でも、もう少し考える力や思考し表現する力も見たいということであるので、追検査も実施しなければならないとなると、本検査から発表まで5日しかないという日程は、学力検査の採点や第2日の評価のことを考えると本検査のあとの時間的な余裕がもう少し欲しい。そうすることで、生徒たちの評価をしっかりとやりたい。中学校側からも、志願変更の日程にももう少し余裕をもたせて欲しいということがあった。祝日等で日程を決めることがなかなか調整しづらいところではあるが、一つは検査自体を出願から発表までを少し長めにとるということを検討材料としていただきたい。ただ、発表はできるだけ早くしていただきたい。

- ・国立大学は、一般入試の前期日程が2月25日となっている。高校入試と大学入試が同日に実施されると不都合ではないかが心配である。千葉県は、東京、埼玉、神奈川より遅く一本化をする。であれば東京、埼玉、神奈川がどの日程で実施しているかを調べ、大学入試は土日であろうと2月25日前期入試と決まっているので、千葉県の高校入試も2月何日だと決めれば、このような議論をしなくてもよいと思う。
- ・他県の情報を集めながら、検討していきたい。

(2) 令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜以降の選抜方法等の在り方について

- ・令和3年度入学者選抜以降の選抜方法等の在り方について説明した。
- ・選抜のための資料について説明があったが、これらをどのような形で各校の特色を出すことができるのか。どのような選抜を実施することができるのか。
- ・入学者選抜の資料というのは、学力検査の成績、調査書、学校が定めた第2日目に行われる検査の結果を資料として選抜を行うということである。これについて今後つめていきたい。
- ・生徒の優れた面を多角的に評価する選抜を推進してほしい。同時に、各学校が特色を出して頂けると思うが、評価の方法をわかりやすく公表して欲しい。
- ・選抜の基準の一つで調査書の評定というのがあるが、その調査書について、昨年度を見るといろいろところで調査書の変更についての意見が出ているようだ。学習指導要領が改訂になることで調査書の様式の変更があるのであれば教えてほしい。変更があるならば、中学校側ではシステム化を進めている。変更があるなら早めにどのように変わっていくのかを知りたい。
- ・本検査、追検査を踏まえて、合格者を発表することになっているが、本検査と追検査では問題が違う。その際、どのように合格者を決定するのか、この件については追検査を受ける受検生、中学校、保護者にとっては一番の関心事ではないかと思う。現在はインフルエンザでも受検しているから、体調が悪くても同じ検査問題でやっている。追検査を実施すれば問題は異なる、調査書は同じ。その場合どうやって合格者を決めていくのか、大きな問題となる。各学校が総合的に各学校の校長に任せるといった形がいいのか。結果として、追検査を受けた人数がそれぞれの学校で報告される。そうすると追検査で合格するものが何名ということも報告されると思うが、そうするといろいろな問題が検査後に生じる。合格者がある学校では何名、ある学校では何名といった形で発表されると、その理由はという問題になる。これも他県の様子を調査し、公平な方法を検討し、報告して欲しい。

(3) 令和元年度千葉県公立高等学校入学者選抜等改善協議会専門部会の設置について

- ・専門部会設置の目的と構成及び人数について説明した。
(意見等なし)

(4) その他

- ・令和3年度の入試日程について案A、案Bが出たが、これは、中学校、私立学校、高校、それぞれの立

場で検討して良いということか。その検討した結果を、次回の協議会にもってくと理解してよいか。

→・そのようにしていただきたい。

・さかのぼっての質問だが、本日の資料3の選抜・評価方法についてだが、前期・後期にわかれて示されているが、この資料は高校が公開するためのひな形なのだろうか。

→・その通りである。

・前期選抜は細かく書かれていてわかりやすいが、後期選抜は、評価が詳細に書かれていなくて、点数についてのことも前期選抜のように示されていないくて、ひな形としてはまずいのではないかと思うのだが。

→・後期選抜については、実施要項に則り、共通の選抜方法で全校が行っている。